

主任研究者の板谷教授が「The Prix Jacques Tacussel Award of the International Society of Electrochemistry」を受賞しました。

板谷教授は、電気化学走査トンネル顕微鏡装置の発明と原子レベルで電極反応の解明、さらに、最近のレーザー共焦点微分干渉顕微鏡による単原子ステップの解像に成功したことが認められ"The Prix Jacques Tacussel Award of the International Society of Electrochemistry"に選出されました。

ISE が新潟で開催する 2011 年度のアニュアルミーティングにおいて、受賞が発表され、その後、ISE のウェブにも掲載されます。<http://www.ise-online.org/>

また、板谷教授はプラハで開催される次回アニュアルミーティングで、受賞講演を行います。